



院長
伊藤 真理子
プロフィール

真理子先生の
女性の **き** **か** **た**

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

カンジダ膣外陰炎

これから蒸し暑くなる梅雨時期に向け「あそこが痒くて痒くて…」という方が増えるはず。そう、厄介な「カンジダ」がいたずらする季節です。

カビの一種

カンジダは年間を通じて発症しますが、カビの一種なので高温多湿状態で活発になります。症状は皮膚がカサカサと赤くなり、乾燥して切れやすくなります。

膣の中でカンジダが増えると、白くポロポロとしたおりものが出ます。症状が進むと、白いポロポロが黄色や緑色にもなります。

ります。

身体が弱っている

梅雨時期のほか、季節の変わり目や、身体の抵抗力や免疫力が弱まった時も要注意です。

特に今年は春先にインフルエンザが猛威をふるい、風邪も流行しました。病み上がりで身体が弱っていたり、中には治療で使った抗生物質がきっかけになったり。寝不足などが原因になったりもします。

陰部はこじれやすく

カンジダは皮膚病ですので、全身のどこにすみ

ついてもおかしくありません。柔らかい皮膚や粘膜が特に好きで、乳首や乳輪、口周りにも発症しますが、その中でも陰部は最もこじれやすい場所です。眠っている間に無意識に掻いてしまうからでしょうか。



掻くのは禁物

ご自身で気を付けることは、とにかく掻かないこと。掻くと余計に悪くなるばかりですから。それにかゆいからといって

シャワーやウォッシュレットを直接あてないこと、石鹸でこじし洗わないことです。

最近は抗真菌剤入りのソープもあります。ドラッグストアで有効な塗り薬や膣錠も売っています。繰り返す方で、なかなか病院に行けない方にお勧めです。

(産婦人科)

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

- 受付時間
【平日】午前/8時30分~12時
午後/14時~17時
【木曜】午前/8時30分~11時
【土曜】午前/8時~11時
- 休診日
日・祝祭日
木・土曜日は午後休診となります。

